

# 会派視察報告

長久手グローバルネット  
なかじま和代

平成28年7月18日(月)～19日(火)



## 大阪歴史博物館

### フロア巡りが時代巡り 体験型展示を通して、歴史を体験し 考えることできる博物館

大阪歴史博物館は、大阪城に隣接し特徴的な窓を配した地上10階、地下2階の建物です。受付を通過して10階まで上がると、朱色の大きな円柱の柱、等身大サイズの大勢の宮廷人が儀式の最中のように姿勢良く列を組んでいます。10階は奈良時代です。続けて9階は江戸時代、8階は発掘現場の体験、7階は大正から昭和初期の街並みを感じられる作りになっています。

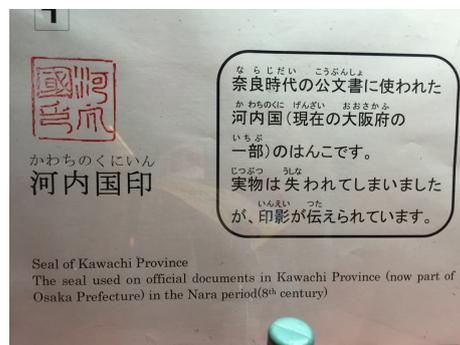
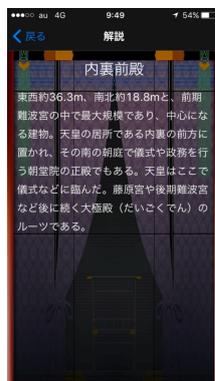
各階には、フロアの時代の公文書に使われた印影を使ったスタンプラリーやクイズがあり、見るだけでなく参加する工夫が随所にちりばめられています。携帯にアプリをダウンロードすることで、AR(端末のカメラ映像にCGなど重ねる技術)も楽しみました。各階のジオラマはとてリアルで、その時代の暮らしや街並み、雰囲気を感じることができます。

5ヶ国語の対応したパンフレット、常設展示には音声ガイド端末も配備されています。

建物の特徴的な窓の正面は大阪城で、10階、9階、8階とエスカレーターで降りていくとお城の見える姿が変わり印象的です。



# 10階



## 等身大のジオラマ お出迎え

## スマートフォンをかざすと...

## 数百年前の難波宮の姿が浮かび上がります

古代からの旅は最上階10階からスタートです。  
大化の改新(645年)後、この地にあった難波宮の宮殿内が等身大の模型で再現されています。  
天皇に仕えた官人の着物、手に持つ小道具から、烏帽子、靴、それに顔の表情までがとてもリアルです。  
はじめは宮殿内の儀式が映像で紹介されていましたが、映像が終わると窓が一面に開き、10階から階下に現在の大阪の街が一望できました。

AR 難波宮(なにわのみや)のアプリをダウンロードすることで、現在の街並みの中に、在りし日の難波宮の宮殿の様子が立体的に見ることができます。館内に10ヶ所、博物館公

園、難波城趾公園にマーカー(読み取り場所)が配置されています。  
マーカーを読み取ると、在りし日の姿(復元された建物)が現われます。現われた建物についての詳細もアプリの内で紹介されています。画面上で拡大・縮小、建物を360度クルクルと動かすこともできます。

スタンプラリーも10階から始まりません。奈良時代の公文書に使われた河内国のはんこが1番。  
伝えられた印影をもとに作られたはんこで、スタンプ帳へ1つ目のスタンプが押せます。

# 9階・8階



## 本日のハンズオン(自分の手を置く=触れてみる)には、ボランティアが大活躍



9階は、天下の台所と呼ばれた中世近世の街並みを紹介しています。

水都を実感できる橋の下を通ると、頭上に行き交う人が見えます。20分の1サイズのミニチュア模型では街の賑わいが伝わってきます。

本日のハンズオンという体験コーナーでは、「両替商になってみよう」というワークショップに参加できます。

当時、江戸の貨幣は金貨と銅のコイン、大阪は銀でした。一両金貨1枚と銀の重さが釣り合うようにして、コインを両替し取引していました。レートは日々変わり、示された今日のレートに合わせて、両替が行われました。示された両替金額には、両替商の手

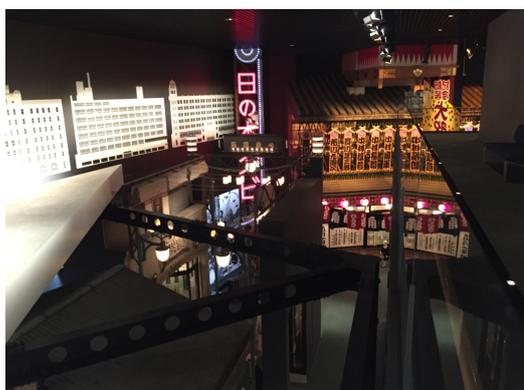
数料も込みでした。

外国人旅行者が多かったのですが、ボランティアの方は英語も堪能で、不自由を感じさせない安定した話し方で、両替商を体験していました。博物館内のものと人がつながることで生きた勉強になっていました。

8階は発掘現場の様子や発掘されたものを復元(パズルのように根気強く)がマグネット付きの模型で体験できました。

どちらの階にもボランティアの方が数名いらして、探究心をくすぐるための声かけを行っていました。1日のボランティア数は館内全体で40名ほどだということです。

# 7階～2階



## 時代が現代に近づき 街並みは西洋化 西洋化は豊かさの象徴



7階は、近代フロアです。ジオラマの世界は、洋装に帽子のスタイルが登場し、建物にはガラスが使われ入り口も引き戸からドアへ変化し、西洋化の波を感じます。

心斎橋筋は銀座にならぶ名店街だったそうで、ウィンドーショッピングをしながら歩く様子に少し得意げな表情を感じます。

常設展は10階より7階まで、現在の大都市大阪につながる賑わいを感じられます。

6階は特別企画展、巡回展などが開催される特別展示室です。「都市大阪の起源をさぐる難波宮前夜の王権と都市」の特別企画展が開催中で

した。3世紀から5世紀の大阪に王宮があったことが日本書紀に記されているが、所在地が判明していません。そうした中で、倉庫群が発掘されたことから、王宮のネットワーク、権力の大きさなどイメージを膨らますような展示になっていました。

9月から始まる「真田丸展」の開催前講座(3回開催)の募集をしています。

2階に「なにわ歴史塾」があり、大阪の歴史についての調べ物学習に役立つ書籍、資料、映像ソフトが揃っています。塾の名は、自発的な研鑽意欲の人たちが集まるところという意味から名付けられたそうです。



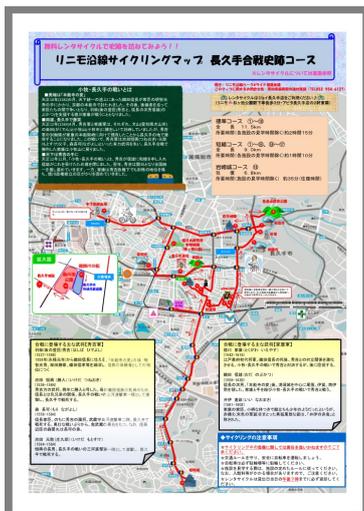
資料館に期待される役割は時代とともに少しずつ変化しますが、「歴史を感じる参加型」の事業、学校教育との連携が求められています。そのためには展示解説の方法、なんども足を運びたくなる工夫が必要です。大阪歴史博物館の普及事業の良いところを参考にできます。

長久手市では、古戦場公園周辺で大規模な開発が進んでいますが、ここは織田信長亡き後に羽柴秀吉と徳川家康が天下をかけて戦った小牧・長久手の戦いの地として貴重な文化財が点在しています。これら文化財を保全するとともに、ここで育つ子どもたちに郷土の歴史を学び親しむ場としての再整備が必要です。平成27年3月に古戦場公園再整備計画基本構想が策定されましたが、基本構想の中で課題としてあげられた古戦場公園と資料室の老朽化による再整備では、「歴史を感じる参加型」が望ましい。常設展としてこの売りになるものの展示はもちろんだが、何度も足を運んでもらうためには、別に所蔵品の多くが日の目を見れるようにする展示会を学習会や体験会とセットで期待したい。

市内の史跡には、現在もQRコードで史跡情報が読めるようになっているが、AR技術を取り入れ再現映像により戦場の様子がわかるものを用意できると今の時代の子どもにも伝わるものがあると思う。ポケモンGOのように、史跡めぐりがスタンプラリーのように宝を集めていけるようだと面白い。

また、愛知県振興部交通対策課が行っている『リニモ沿線サイクリングマップ』(左図)では長久手合戦史跡コースがある。こちらと連携を密にして自転車道の整備も大切だと思う。

学校連携事業は、学習のどの部分を担えるのかの検証と長久手の子どもに知ってほしいことを整理すること、資料館の学芸員に適任者が必要なこと、またボランティアの助けなど課題がある。



# 阪神・淡路大震災 人と防災未来 センター

# 生き残るため 過去の震災を忘れないこと 過去に学ぶこと



阪神・淡路大震災『人と防災未来センター』は、阪神・淡路大震災を教訓に防災・減災への願いをこめて作られたセンターです。災害に強いまちづくり、家庭の備えについて主体的に考える場となっています。また、災害が起きた時にボランティアは何をすべきか、ボランティアへの呼びかけはどうすべきかを考える場となっています。

## スタート



## 西館1F

120分コースは  
語り部体験談または  
研究員セミナー  
(小中学生対象)



## 西館4F 震災追体験フロア 所要時間：約30分

### 1.17シアター 上映時間：7分



迫力ある映像・音で震災破壊の凄まじさを再現しています

### 震災後のまち



### 大震災ホール 「このまちと生きる」 上映時間：15分

上映時間：15分



震災直後のまち並みをリアルに再現せし立ち止まって隔々まで見てみてください

## 西館3F 震災の記録フロア 所要時間：約15分

震災からの復興を再現したリアルなジオラマ

実際に触ったり、動かしたりできる展示がたくさんあります！



震災からの記憶を残す



震災からの復興をたどる



## 西館2F 防災・減災体験フロア 所要時間：約15分

### 防災・減災ワークショップ



60分コースは  
このフロアで  
終了！

## 東館3F 水と減災について学ぶフロア 所要時間：約30分

### いのちの星の奇跡



リアルなフクロウが  
語りかけてきます。

### 水の星の賛歌



### 風水害の脅威



90分コースは  
このフロアで  
終了！

## 東館1F こころのシアター (3D) 所要時間：約30分

3Dメガネを  
お配りします！



終了

学んだことを活かして  
防災・減災に取り組んで  
行きましょう！

120分コースは  
このフロアで  
終了！

## フロアガイド(西館4階・東館3階)

西館4階は、1.17シアター、震災のまち、大震災ホールで発災直前から直後の地震の威力を感じる映像で建物、道路、列車の倒壊が日の出前の街でどのように起こったのかを追体験できます。西館3階と2階には展示品の解説などでボランティアの方が常時10名ほど活動されています。3階は、震災の記録フロアの被災時の展示物、市民はどう動いたのか、災害時に欲しかった情報の変遷、避

難所のルール作り、さまざまな統計、市民・ボランティアへの感謝の思いなどが我が事として考えることができます。2階調べ学習のコーナーは、調べたい地区の地震被害想定情報をプリントアウト出来ます。減災グッズの展示・防災減災ワークショップも随時開催しています。東館3階は風水害の脅威を上映、2階は特別展示で東日本大震災との比較を展示してありました。1階は、3Dドキュメンタリー映画大津波の上映を見ました。ミュージアムショップには防災グッズなどが販売されています。

# 来館者への配慮



## 阪神淡路大震災 人と未来防災センターは、子どもから大人まで楽しみながら防災・減災について学ぶ工夫が随所にみられます

ボランティアは展示フロアで、展示の解説や説明をしています。手話や外国語にも対応していて、自らの震災体験を語る「語り部」から震災当時の話も聞くことができます。(対応可能な言語を示した腕章をつけています)

パンフレットや非常持ち出しチェックリストは日本語、英語、中国語(2言語)、韓国語の5言語に対応しています。

スマートフォン用ガイドシステムは手持ちのスマートフォンでWi-Fi接続すると展示品にまつわるメッセージを見ることができます。こちらは日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語に対応し、特別なアプリは不要です。

夏休みは、「夏休み防災未来学校」として幼児から大人までを対象にした21のプログラムが予定されています。ペットボトルで地震計を作る科学的なもの、体験型防災アトラクションライフライン(脱出ゲーム)などの体験型、ロープの結び方を学びながらミサンガを作る、1枚の布の活用を学ぶなどの汎用品の可能性を考えるプログラムなど本当に楽しみながら学ぶ工夫がされています。

参加によりポイントが付きポイントは景品と交換ができ、景品は減災バンダナ、携帯用簡易トイレ、レスキューセット、ビスコ保存缶など減災グッズが用意されています。

# 長久手市へ活かす



## 長久手市でも子どもから大人まで 楽しみながら防災・減災について学 び、備える工夫が必要です

阪神淡路大震災の死者は6,434名。その内72%が圧死・窒息死でした。建物の耐震化・家具の固定の重要性を改めて実感しました。長久手市が現在無料で実施している木造住宅耐震診断の制度や既存の住宅の中にもう一つの安全な部屋を作る耐震シェルター設置への助成制度はその有効性からも幅広く市民の方に周知が図られ、備えの一つとして設置が促進されることが必要です。また、救出にあたる市民を守る制度は現行の市民活動災害補償制度で十分なのかどうか。救出に使う道具(車のジャッキ、チェーンソー、エンジンカッターなど)を使った訓練も必要です。

震災などの広域災害時には、倒壊した建物からの救出には消防の到着を待たず、第一に市民が動くことがわかっている。救出する必要があるかどうかの判断に一軒ずつ家の中を点検するわけにはいかない。長久手市内の防災訓練で本人の無事を示す黄色いタオル、バンダナ、無事カードなど様々なアイテムが用いられているが、早急に統一した基準が必要だと再確認した。また、自治会加入の有無で配布されていない世帯が取り残されることのないような施策も必要です。

市内に住む外国語を母国語とする方、聴覚に不自由の

ある方に向けてはコミュニケーションボードが有効だと感じた。ボードの絵を指差すことでコミュニケーションを取るものだが、長久手市に想定される内容を形にすることで言葉や手話を習得していない一般の方でもコミュニケーションが取れる。それぞれの防災会の備蓄品とすることが望ましい。

ライフラインが止まる、余震が続く、情報が欲しいなどで避難所は発災後1週間目をピークに人が集まったが、体育館だけの利用では足りず、校庭は受付、救援物資の置き場、炊き出し、車での避難、仮設トイレ、ゴミ置き場などと多様に使われ、教室全てが避難者の就寝スペースとして利用された。長久手市の訓練でも学校全体を使った訓練をする必要がある。

実際のボランティア内容は、ボランティアする方の特技や関心、気づきやこだわりによって多岐に及ぶ。宝塚市の行ったボランティア本部の下に避難所、保育・子ども、洗濯、引越しなど15の担当部署を設置し人を配置したことやボランティアのニーズ(需要)を28に分類したことなどは想像力を膨らませ備える上で学ぶ必要がある。

『大規模な都市災害の場合、被災者が求める「救援」の第一はお金です。』という神戸大学室崎教授の言葉が紹介されていたが、お金で解決できる問題とは別に、心のケアが必要なことがわかってきている。いざという時に頼りになる人のつながり、絆作りには価値観の共有(時間の共有)が必要です。

# 神戸 IKEA



## 長久手 IKEA 来年10月オープン

ポートライナーの南公園駅に神戸 IKEA は隣接しています。長久手にオープン予定の IKEA も公園西駅に隣接のため、どのように使われているかを見学しました。

IKEA の閉店時間は21:00、ポートライナー終発は23:58でした。神戸三宮駅からの交通費は往復で500円、ポートライナー利用による配送サービスの補助はありません。ポートライナー利用者は一定数いましたが、圧倒的に

車で訪れる方が多かったです。周辺にそのほかに目立った建物もなく、周辺道路に渋滞はありませんでした。

館内放送で混雑を伝えていたのですが、店内は程よく人がいる感じで人混みを感じるほどではありませんでした。

店内は、個性ある部屋が展示してあり、展示してある組み立て式の家具や装飾品がそのままに購入できるスタイルで、配送料も高額で、車が便利です。

渋滞対策にリニモを使っただけには、企業努力を期待するだけでなく長久手市の対策もさらに必要です。



明石市では今年度、第2子以降の保育料完全無料化、保育所待機児童解消 1,000 人の受け入れ枠確保など子育て支援の先進的に取り組んでいます。どのような背景からそのような施策に取り組むことになったのか、課題の解消にはどのように対応しているのかを『明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を中心にお話を伺いました。

保育料0、子育て支援の施策は、昨年会派長久手グローバルネットが長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて出し



## 子どもを軸に・・・の成功！

『明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略』は、明石市第5次長期総合計画（2011年～2020年度）の示す町の将来ビジョンや中長期的な取り組み内容を踏まえて策定しました。

総合計画策定時2010年人口は 290,959 人でしたが、10年後は1万人ほど人口が減少することが推計されていました。これにたいして、目指す10年度のまちの姿は『ひと まち ゆたかに育つ未来安心都市・明石』というもので、内容としては、多様な能力や個性

を持った「ひと」が明石に集まり、出会い、たがいの価値観を認め合って、信頼を築いていく。そうしてつながりの中で、だれもが成長していくことができる。このような「ひと」が豊かに育つまちでは、「ひと」が「まち」を発展させ、発展した「まち」がもっと豊かな「ひと」を育む。「ひと」、「まち」の成長、発展により、未来に希望を持てる安心なまちを築き、次の世代に引き継いでいくものでした。戦略を支える5つの柱の一つ一つにこどもの語が入っていて、こどもの健やかな育ちがみんなの元気を生み出していくものと位置付けています。



## 『住みたい、住み続けたいまち』へ

こどもを核としたまちづくりが“関西で唯一人口がV時回復する自治体”となった明石市で、20～30代の子育て世帯の転入増が特に増加していました。『明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略』では、人口30万人、赤ちゃん(出生数)3,000人、本の貸し出し冊数300万冊を『明石のトリプルスリー』と名付け今後5年で目指す目標としました。

人口30万人の中核都市になることは、兵庫県から様々な行政サービスが移行するため市民サービスが向上し、明石の魅力向上になると考える。

出生数3,000人/年は人口減少の克服にも必要不可欠な部分で、子育てに希望が持てる環境づくりで、少子化に歯止めをかけ、明石市の合計特殊出生率を2030年までに2.07に上昇すると設定しています。このためには多子世帯への支援を明確にしていくことが必要と考える。

図書館での本の貸し出し冊数300万冊/年は、本のある文化のまちづくりを目指したもので、学校図書館との連携、ブックスタートなどの事業に加え、現在明石公園内にある市民図書館を明石駅前に駅前図書館を来年1月オープンすることで、利便性の向上により、利用者拡大が期待されています。

駅前図書館の入るビルは、公的施設のほかに大型書店、飲食店、美容室などが入る予定です。駅前の地価上昇からも駅前リニューアルへ期待の大きさが伺えます。

- ・ あかし市民広場展示会などで700人が集え、給排水設備を完備しおうちのグルメイベントも開催可能
- ・ あかし総合窓口では住民票発行から年金手続きなど平日・土曜日も可能
- ・ あかし市民図書館は平日9時まで開館
- ・ あかし子ども広場の一時保育ルームは、毎日誰でも1時間500円で一時預かりが可能
- ・ あかし子ども広場の中高生世代交流スペースは、音楽スタジオ、ギタードラムの貸し出しが全て無料
- ・ あかし子ども広場の親子交流スペースは、ポーネルンドの大型遊具、ボールプール、ボルダリングなど屋内でも思いっきり遊べるスペースを設置

## 保育所 1,000 人新規受入れ枠確保

は、2017年4月の待機児童ゼロを目指す施策の一環です。2016年7月の待機児童は332名とたくさんの方が保育園への入所を望んでいます。対策として認定こども園、保育所の分園の新設などを民間法人が行う園への補助金の割合をアップさせることで1,000人の受入れ枠確保を目指します。まず、9～10月で112名の定員増を実施予定です。(9月に2園の新設で56名。2園の定員増で16名。10月に2園の定員増で40名。)同時に保育に当たる人材は、量だけでなく質の確保は譲れないということで、明石市独自での上乘せ補助を行いパート保育士の時給1,335円です。



## 保育所 1,000 人新規受入れ枠確保

2017年4月の待機児童ゼロを目指す施策の一環です。2016年7月の待機児童は332名とたくさんの方が保育園への入所を望んでいます。対策として認定こども園、保育所の分園の新設などを民間法人が行う園への補助金の割合をアップさせることで1,000人の受入れ枠確保を目指します。まず、9～10月で112名の定員増を実施予定です。(9月に2園の新設で56名。2園の定員増で16名。10月に2園の定員増で40名。)

同時に保育に当たる人材は、量だけでなく質の確保は譲れないということで、明石市独自での上乘せ補助を行いパート保育士の時給1,335円で、兵庫県の平均時給896円から比べても高待遇を用意しています。

担当の方のお話で、保育所を作れば作るほど需要を喚起し、もっとたくさん必要になるが・・・子どもを核にした分野にしぼって重点的に人もお金も予算を投入しているということでした。

明石市は神戸市に東と北を包まれ、高速や新幹線、JR、私鉄が通り目指す都市の形が住宅都市として捉え、子どもが安心して心身ともに育つ環境づくりに全力をあげていることがよくわかった。

## 長久手市へ

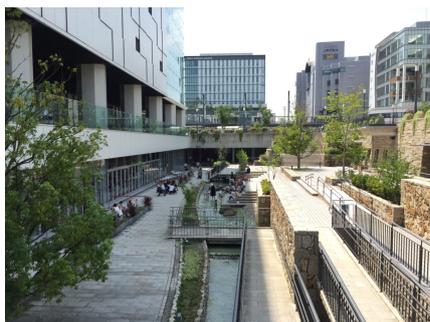
長久手市も名古屋市、豊田市で働く方の住宅都市として順調に人口を伸ばしています。保育料を0円にすることは、子どもいる暮らしに夢を持てる長久手となり、新たな若い住民が移り住むことで、住民税・固定資産税が入ってくることで、子どもがいれば毎日のミルク、オムツに加え、季節ごとの洋服におもちゃ、学用品・・・と必要な消費行動は市内の小売店を活気づけ、地価の上昇も期待できます。どの部分に焦点を当てるのかを明確に打ち出している明石市の取り組みで改めて、子育て支援は市の発展の原動力になると感じました。

長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略で会派提言した直営保育園の自園調理化、そして直営保育園の分園として0-2歳児を中心としたサテライト家庭保育室の設置の案は非常に有効と考えます。

行政側が何もしなくても、0歳の子どもも来年には1歳になります。今必要な支援を実現するためには大胆な施策とともにスピーティな対応が必要と考えます。

また、保育士は小さな命を預かるというだけでなく、コミュニケーション力、指導力そして倫理観が必要で、どれが欠けることも許されない質の高い仕事です。仕事の価値を認め相応の対価(金銭的・待遇的)を払うことも必要だと考えます。

# 姫路駅前広場



## 姫路城を正面に お出迎えのスペース

姫路市では、姫路駅前において姫路駅周辺土地区画整理事業、駅南土地区画整理事業、鉄道高架化に伴う関連道路事業を一体的に行い、キャストィ21計画や都心部まちづくり構想に基づいた整備により、ビジネスマンが忙しく歩く中を、子どもたちが水遊びし、外国からの旅行者もたくさん行き交う魅力的な駅前を演出していました。

## 長久手市へ

リリモテラス構想でどのように生かせるかを考え見学しま

した。多様性が許される空間には、自然のもの、つまり木陰があり、水の流れを感じる必要があるなと感じました。川の流れを感じテラス席でランチをするなど人の動きに寄り添うことでつながりが生まれると無理がないと感じます。イベント時のみに集まるのではなくあくまでも無理のない使い方が理想です。リリモテラスは、何をシンボルに集うかのイメージが必要だと思いました。

また、リリモテラスを出発点に手軽に長久手を周回するにはレンタサイクルの整備が必要だと思いました。姫路ではJRと姫路市がそれぞれレンタサイクル事業をしていました。

